

富谷市記者会見資料①

令和2年10月28日

企画部企画政策課

担 当：菅原

連絡先：022-358-0517

富谷宿観光交流ステーション「とみやど」 4月17日グランドオープン決定

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本年10月のオープンを延期していましたが富谷宿観光交流ステーション「とみやど」は、来年4月17日にグランドオープンすることを決定いたしましたので、お知らせいたします。

オープンイベント等の詳細は、今後、決定次第お知らせいたします。

記

- 【グランドオープン】 令和3年4月17日(土) 午前10時から
※飲食店は午前11時から
- 【プレオープン】 令和3年3月28日(日) 午前10時から
※飲食店は午前11時から

※プレオープン後、グランドオープンまでの期間は通常営業を行う予定です。

※施設の詳細については、別紙資料参照



「奥州街道富谷宿開宿 400 年記念事業」

富谷宿観光交流ステーション(愛称：とみやど)

グランドオープン日：令和 3 年 4 月 17 日(土) 10:00～

(※プレオープン日：令和 3 年 3 月 28 日(日) 10:00)



◇愛称『とみやど』

かつての宿場町として栄えたしんまちの中心であり、富谷発展の原点として富谷の魂が宿る場所であることを表現。また、富谷宿=宿場(やど)から、ゆっくり休んでねという意味と「ど」=ドは(ドレミ)音のはじまりであることから、「マーチングが盛んな音楽のまち」そして、ここ富谷から新しいはじまりとワクワク感を表現。

富谷宿観光交流ステーション施設概要

【施設の目的】

富谷宿観光交流ステーションは、地方創生拠点整備交付金を活用し、かつての宿場町の面影が残る『しんまち地区』において、内ヶ崎醤油店であった跡地を活用し、地域の歴史的な資源や背景を活かした観光交流の拠点及び起業・創業の実践・チャレンジの拠点を整備するものです。このことにより、宿場町の歴史・文化など本市の魅力の一端を伝えるとともに、観光交流の拡大と併せ、地域の稼ぐ力を創出し、地域経済の活性化を推進します。

とみやどロゴマークについて



【コンセプト】

旧内ヶ崎醤油店のロゴに使用されていた六角の亀甲紋をデザインに使用し、「富」の文字には印鑑などでも使用する「篆書体」を使用。古くから使用された篆書体は、戦国時代に発達して整理され、公式書体としても使用されました。



施設の整備内容(1)

【項目】	【内 容】
所在地	富谷市富谷新町 1 1 1 番地 1
整備面積	2, 8 7 8 m ²
建築面積	5 4 1. 41 m ²
用途地域	第一種住居地域（都市計画法に基づく）

【施設名】	【建築面積】
内ヶ崎作三郎記念館	1 3 7.90 m ²
古 民 家	4 4.72 m ²
チャレンジ館（新築）	1 8 6.04 m ²
イベントスタジオ（新築）	5 1.46 m ²
イベントステージ（新築）	6 0.51 m ²
蔵	6 1.39 m ²

【施設名称】	【施設機能】
内ヶ崎作三郎記念館 展示ギャラリー（1F）	富谷市の偉人 内ヶ崎作三郎氏の功績を伝えるため、生家を記念館としてリノベーションし、作三郎氏の功績等を展示するギャラリーとして運営する。
インフォメーション 管理室（1F）	施設を管理運営するための事務所として利用する。地域おこし協力隊の観光企画ディレクターが常駐する。
会議室・宮城大学共創ラボ （2F）	日常の会議室の利用のほか、宮城大学との連携プロジェクト（宮城大学共創ラボ）などでも利用。プロジェクト内容は、内ヶ崎作三郎氏の著書の人生学から「プラチナ人生学」と題した「プレミアムスクール」を共同運営する。

施設の整備内容(2)

【施設名称】	【入居者】	【テナント名称】	【テナント事業内容】
古民家	NPO 法人 SCR	いい茶や	茶屋（カフェ）の出店
チャレンジ館	Candybase(株)	&とみやジェラート	ジェラート店・物販
	中華屋 丹心	中華屋 丹心	中華料理店（拉麺店）
	蜂谷 真望	HACCHIME	定食屋・惣菜店
イベント スタジオ	(株)くんぷう	くんぷう	陶芸教室・物販
蔵	(株)EIGHT CROWNS	EIGHT CROWNS	ハチミツ関連商品物販

【施設名称】	【施設機能】
マルシェ広場	チャレンジ館の前方に位置し、マルシェなどの物販イベントを行うための場所として利用する。イベント以外の利用としては、チャレンジ館や古民家の共用スペースとして、野外にて飲食ができるスペースとして利用する。
イベントステージ・野外交流サイト・芝生広場	イベントステージと野外交流サイトは、主にイベントを行うための場所として利用する。芝生広場は、日頃は施設での休憩スペースとして利用のほか、イベントでの専用としても活用する。
軒下一間屋 (いっけんや)	内ヶ崎作三郎記念館の前方軒先に位置し、物販を行うための場所として利用する。

施設の平面図

